

# 電気を 夏の季節の 節約 おまじない

もったいない ありがたい を感じる日本の夏

## こころをひとつに ～復興へ 長浜のお手伝い～

1000年に一度の大災害をもたらした東日本大震災。その大きな爪痕からの復興には、長い時間とたくさんの支援が必要です。そんな中、震災発生時から多くの皆さんが「こころをひとつ」にして、被災地への支援活動を行っています。その活動の一部を紹介します。



### 東日本大震災で被災された多くの友達へ

6月2日（木）、虎姫小学校の児童らが、東日本大震災で被災した友達を励まそうと、独自の支援活動に取り組みました。

「がんばろう！いっしょに！心はひとつ！」と名付けられたこの取組みは、児童会プログラム委員会が、震災でつらい思いをしている友達に、何かできることはないかと考え、歌とメッセージを書いた鶴を贈ろうと企画したものです。

歌うのは、地元の音楽家の饗場さんが作詞作曲した「地球風」。全校生徒およそ300人が、被災地へ届くような大きな声で歌いました。この歌声は、CDにして千羽鶴とともに、震災の被害が大きかった石巻市の小学校に届けられます。



### みんなの善意が集まりました

6月5日（日）、東日本大震災の被災者を支援するチャリティーバザーが、長浜小学校の体育館や駐車場を会場に開かれました。

バザーは、長浜青年会議所や長浜小学校PTA、1000人献血の会などの各種団体やボランティア有志が実行委員会を組織して開催したもので、会場には衣類や台所用品、タオルに食品など、様々な品物がならびました。また、会場の外にも、模擬店などが設けられ、9時の開場と同時にたくさんの人で賑わいました。

なお、この日の売上金や募金は50万円となり、義援金として被災地へ送られます。

## Contents

■特集 節電アクション	3～7P
■避難支援・見守り支え合い制度	8・9P
■原子力の安全対策	10P
■非行・被害防止	11P
■後期高齢者医療制度／健診など	12・13P
■ほつとにゆ～す	14・15P
■意見募集／税	16・17P
■市政の動き、年金／ みどりいっぱい、有害鳥獣	18・19P
■健康／市長コラムなど	20・21P
■多文化共生、消費生活相談／景観	22・23P
■スポーツ、イベント情報／人権	24・25P
■インフォメーション	26P・27P
■裏表紙 ながはま百景、SMILE	28P

## 今月の表紙

### 夏といえば・・・

ゆかた姿で縁側に佇む・・・いかにも涼しげで、和の趣を感じます。わたしたち日本人は昔から、高温多湿の夏でも快適に過ごす工夫をしてきました。打ち水、窓によしず、壁にみどり、夏野菜で体を冷やすなど、すべて理にかなった「涼」の取り方です。

今回の特集は「節電」。エアコンを多用するなど、電気のチカラだけで夏の暑さに立ち向かうのではなく、先人の知恵を活かして「涼」を取り、夏を楽しみましょう。

みなさんの一つひとつの「節電アクション」が電力不足を防ぎ、地球温暖化を食い止めることにつながります。